

令和7年度 北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議
介護予防・活躍推進に関する会議 会議録

1 開催日時

令和7年12月22日(月) 18時30分～20時00分

2 開催場所

北九州市総合保健福祉センター 2階 講堂

3 出席者等

(1)構成員(14名/15名)

有山構成員、石田構成員、小畑構成員、木庭構成員、下田構成員、
田村構成員、永野構成員、眞崎構成員、宮本構成員、安田構成員、
安仲構成員、山本構成員、横山構成員、吉田構成員

(2)事務局

地域共生社会推進部長、地域福祉推進課地域支援担当課長、
認知症支援・介護予防課長、長寿社会対策課長、介護保険課長、
地域リハビリテーション推進課長

4 代表の選出

構成員の推薦により、代表は眞崎直子構成員に決定した。

5 議事の概要

- (1)「北九州市しあわせ長寿プラン」の進捗状況について
- (2)年長者の祭典について
- (3)認知症月間イベント『鎌田式！健康塾』について
- (4)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について
- (5)テクノケア北九州について
- (6)新たな終活支援事業について

6 会議経過(発言の内容)

事務局 議事(1)から(6)について、資料に沿って説明

代表 議題1から6について、事務局から説明がございました。皆さま、何かご質問、ご意見はありませんでしょうか。

構成員 議題3(認知症月間イベント『鎌田式！健康塾』)について、私も講演会に参加しましたが、非常によかったと思います。できたら、同じような講義プラスイベントブースを続けていってもらいたと思います。これからも計画があるのでしょうか。

事務局 様々な講演会を引き続き、来年度行っていきたいと思っております。測定などが同時にできるかはまだわかりませんが、しっかり数値などで目に見えることで、改めて、ご自身の健康について考える機会になったのではないかと考えておりますので、来年度もこういった機会を検討させていただきたいと思っております。ご意見ありがとうございました。

構成員 後期高齢者健診と後期高齢者歯科健診が全国平均より大分低いと思うのですが、やはり生活習慣病やオーラルフレイルのリスクが、市民の方に十分伝わってないのかと思います。ぜひその周知、健診周知の強化ですね。あと主体が市ではないので難しいのですが、自己負担額の軽減等もご検討いただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

事務局 後期高齢者健診と後期高齢者歯科健診については、福岡県後期高齢者医療広域連合が実施しており、私どもとしては、1人でも多くの方に受診をしていただくよう様々な場で受診勧奨を行っていますが、おっしゃる通り、受診率が伸び悩んでいるところです。

他都市では、節目だけの年齢であったり、有料であったり無料であったり、いろいろなところがありますが、歯科健診の方については、これまで節目の年齢だけであったのが、年齢層が76から80歳の方に拡大をしているような状況です。北九州市の場合、歯周病検診を70歳の節目に無料でやっております。後期高齢者健診の方は広域連合で金額を設定しており、医科の健診が500円、歯科の健診が300円であったかと思っております。金額のことについては、広域連合の方に無料にできないかというご意見をお伝えしているところです。

ほとんどの高齢者が医療機関にかかっているため、受診率を上げるため、様々なところで、皆さまにもお声掛けをしていただければありがたいです。

構成員 健診は介護予防の入り口だと思いますので、ぜひ力を入れて進めていき

いと思います。

構成員 資料13ページの健康づくり介護予防教室の参加者数が、倍以上に増えていてすごいなと思いました。市民の健康に関する意識も上がってきたのかなと思うのですが、他にも何か努力されていることや数に結びついた要因というのがあれば教えていただきたいです。

事務局 健康づくり介護予防教室の参加者数については、令和元年度は7,000人弱でした。そのあと令和4年度ぐらいまではコロナの影響があったと考えております。徐々に大規模なイベント等がコロナ前のように開催されるようになり、かなり数が増えて戻ってきたと考えております。
今後も引き続き、様々な教室などで、健康づくりや介護予防教室を進めて参りたいと考えておりますので、ぜひ機会がありましたら、皆さま方にもPR等のご協力をお願いできればと思います。

構成員 新しくできたテクノケア北九州の説明内容について、すごいなあと感じましたが、PRや認知度はどうなのでしょう。それと、自動検知できるような部屋などについては、市民全体或いはホーム等に展開される予定があるのでしょうか。

事務局 広報については、様々なチラシの配布を行い、特にメディアの方の影響は非常に大きいものですから、取材に来ていただくということを計画しました。オープニングセレモニー前日、市民の方はクローズでしたが、メディアツアーを開催しました。複数の新聞社から取材があり、記事が出ております。そういったメディアを使ったチャンネルがやはり一番届きやすいかと思いません。
また、営業活動も引き続き力を入れて、市民センターでの営業活動なども企画しながら展開していきたいと思えます。
自分の両親や、これからの自分の住まいを含めて考えてもらいたいと思えますので、40代・50代の世代層にも興味を持ってもらえるようなセミナーやワークショップなどを少しずつ広げていきたいと思えます。これからまた第2弾、第3弾と打ち上げていきたいと考えているところです。

構成員 テクノケア北九州のパンフレットにご本人向けの色々な商品が出ていますが、見守りカメラ、玄関ビデオドアホンなど、ご家族の視点の商品を置いていただいたほうがいいのではないかと思います。

事務局 見守りカメラもいろんなタイプがあり、例えば照明器具についていて、遠隔で家族に通知ができるようなもの、転倒件数や活動量を見たりとするもの、何かあれば一緒に話ができるものなど、そういった機器もかなり展示しています。

パンフレットにはあまり載せていませんが、施設の方や病院の方向けの機器なども展示しておりますので、ご意見はしっかりと取り入れながら展開していきたいと思っております。

ぜひ1度見ていただくと嬉しいです。よろしくお願いいたします。

構成員 「終活」を何でも捨ててしまうという印象で、全部整理してしまっ、お家に何もなくなってしまったという話を聞きます。生前整理の正しい知識を広げていかなければ、何でも処分してしまうことにいきかねないと思います。

それと、認知症の方々の世代間交流が、個人的には大事だと思います。子どもから高齢者まで通えるトレーニングジムをやっていますが、子どもたちが、高齢者がつまずきやすいところに線を引いて、高齢者がこけないような仕組みを作っていて、いい循環ができています。

スマートフォンの使い方を子どもたちが高齢者に教えてあげられるような企画もいいのかなと思います。世代間交流の中で、循環型の高齢者支援ができていくと、いずれ子どもたちも自分の親を見るときが来るし、子どもたちが外に出たときに、「大丈夫ですか」と声をかけてあげられるような風土ができてくればいいなと思いました。すばらしい取り組みをたくさんいただいている中で、これからくる介護の状況を先読みした循環型な企画もいいのかなと思いました。

代表 ありがとうございます。本学(大学)も、スマホ教室を来年度に向けて企画をしているところです。ぜひ世代間交流を行っていきなと思ました。ありがとうございます。

他にございませんでしょうか。ないようでしたら、他の構成員の方々にもご意見をいただきたいと思ます。

構成員 私たちは地域活動が主な活動ですので、健康づくり・食に関する健康づくりに取り組んでいます。高齢になって認知症になる方もおられるので、活動の中で、地域での見守りをしたいなと思っています。

構成員 シルバー人材センターでは、会員と会員でない方との体力等の比較調査

をやっている、会員のほうがフレイルになりにくいという調査結果ができつつあると聞いています。データについては、正式に学会で発表されるのですが、そういった意味で、生きがいをもって活動されるということは、認知症予防になったり、つながったりするのかと思います。北九州市の高齢者の皆さまが元気に活躍していただければと思います。

構成員 私どもは市内の高齢者の方に通っていただく、生涯学習の施設ですが、ニーズも変わってきています。皆さま、スマートフォンで自分の意見を表明したい、Instagramやライン等、その他 SNS について、こういったやり方があるのかと。そういったニーズに沿った形で、研修・計画を立てていきたいと考えています。

構成員 介護予防やフレイル予防については、食べること・食に関することについて、影響が大きい部分があると思います。いろんなイベントで栄養相談を行うなど、今後ご協力できるところがあるのではないかと思いますので、ぜひお声掛けいただければと思います。よろしくお願いします。

構成員 介護予防の健康づくりや介護予防教室について、コロナ禍前の数字に戻すことが目標値として多く取り上げられているようですが、(数値の増減について)実際、コロナ禍が理由なのか、もしくは、何か別の理由があるのでしょうか。現場で気付いた点などあれば教えてください。

事務局 指標・目標値については、令和4年度の調査結果で、前回令和元年度調査から、「下がっている」、「悪くなっている」項目が非常に多く見られました。そのため、今回の計画を策定したときは、まずはコロナ禍前の水準まで何とか戻していきたいということで、設定しました。

コロナの影響であつたり、インフルエンザが非常に流行したりということがあって、その度に、皆さまが外出を控えたりすることもあるかと思いますが、そういった状況においても、皆さまが様々な正しい知識を持ち、自宅で健康づくりや介護予防に取り組んでいただいたり、私どももきちんと感染対策をした上で、教室を行った結果、このように数字が少し伸びてきているのではないかと考えております。

構成員 先ほど健診の話がありましたが、後期高齢者健診(の自己負担額)500円は最初からずっとどうにかできないかとお話したけども、なかなかうまくいかない。健診結果のデータが国の方に集約されているので、そういった意

味ではかなり健康状態は改善されているかと思えます。

今一番の問題は認知症をどうするか。発症予防はどのくらい効果があるかが難しいということです。

代表 ありがとうございます。おっしゃるように、KDBシステムでいろんなデータが集約されており、歯科健診を受けた方の健康寿命が延びているというのが、いろんなデータでもわかってきていますので、そういったことを市民の皆さまに啓発していくことも含めて、ぜひ取り組んでいただければと思います。

他にございませんでしょうか。それでは、ご意見・意見交換は終了とさせていただきます。

事務局 皆さま、活発なご意見をいただきまして、ありがとうございます。本日いただきましたご意見を参考に、今後もプランの推進に努めて参ります。

これをもちまして、令和 7 年度介護予防・活躍推進に関する会議を閉会いたします。本日はありがとうございました。